

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ダイワ工業					
代表者名	氏名	吉村 栄二	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県岡谷市神明町4-1-25					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	プリント基板の開発、製造、販売					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	796.61	788.00	806.27		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,455.42	1,440.00	1,466.93		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	4		4		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：長野県岡谷市神明町4-1-25 時間：8:30～17:30 担当部署：総務部 連絡先：0266-22-5758
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

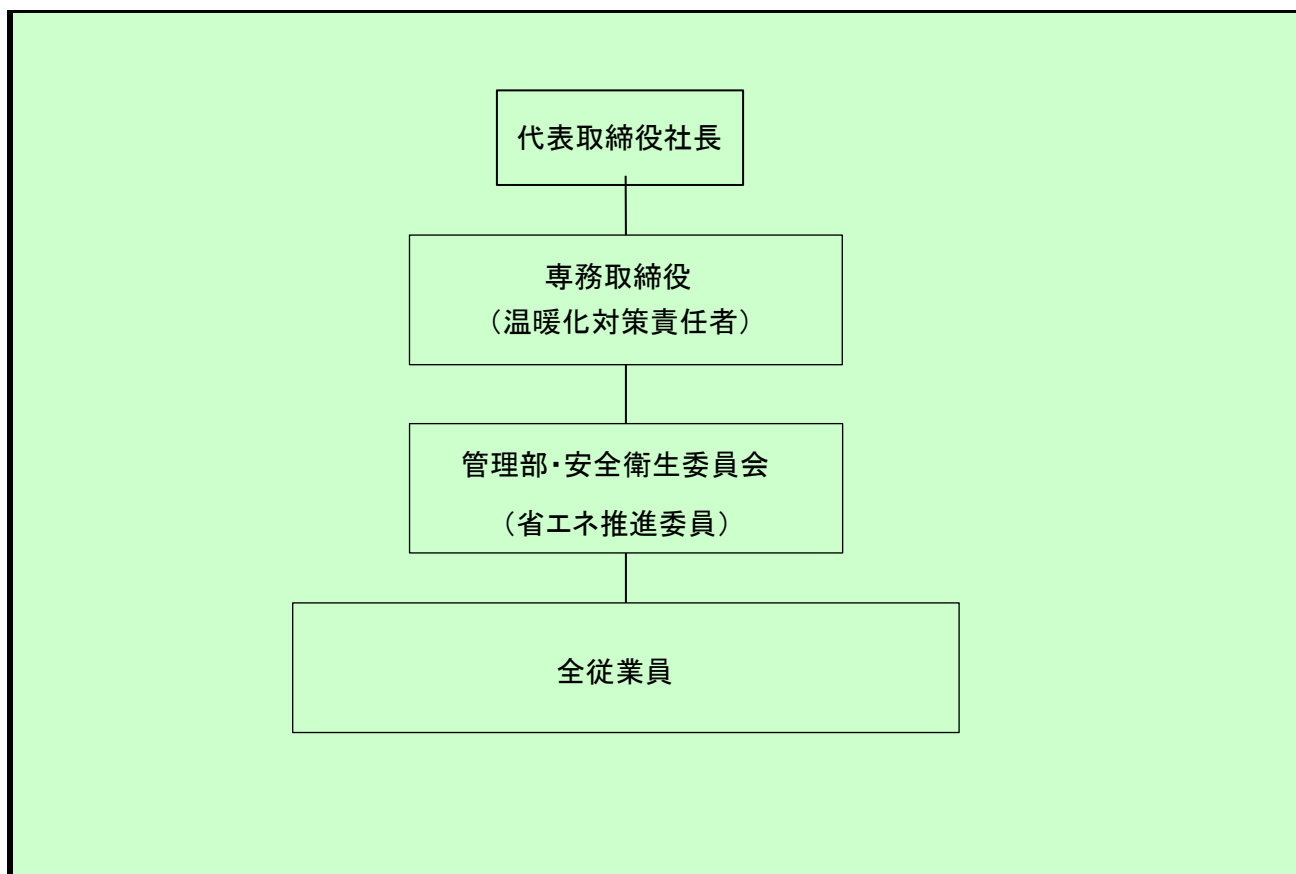
2022年(初回)方針

- ①エネルギー使用量(電気・水道)の監視を行い、エネルギーロスのある工程改善を行う。
- ②スクラバーを更新し、エネルギー使用の合理化を図る。
- ③工場内全体の空調機の温度設定を決め、過剰な冷暖房の使用が行われないように全従業員への意識づけを行う。

2023年方針

- ①エネルギー使用量(電気・水道)の監視を行い、エネルギーロスのある工程改善を行う。
- ②エア配管の配管径を見直し、効率的なエア供給を行う事で、コンプレッサーの負荷を低減する。
- ③工場内全体の空調機の温度設定を決め、過剰な冷暖房の使用が行われないように全従業員への意識づけを行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ推進会議 兼 安全衛生委員会 (12回/1年)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1455.42	t-CO ₂	売上高	11.00	単位	億円
2021年度	調整後排出量	1455.42	t-CO ₂	基準原単位	132.31	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	1440.00	t-CO ₂	目標原単位	130.99	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	1.05	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ推進委員を発足し、1年間で電力使用量を1%削減を目指し、エネルギー起源二酸化炭素排出量1.05%削減を目指します。						
第一年度	排出量	1,466.93	t-CO ₂	売上高	11.90	単位	億円
	削減率	-0.80	%	原単位	123.27	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	1,466.93	t-CO ₂	原単位削減率	6.83	%	
	削減率	-0.80	%				
排出量等の増減理由	製造製品の生産量増加に伴い工場稼働時間が増加した為、電気使用量が増えてしまった。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310100	省エネ推進委員の設置	2022	1	2022	
2	エネ起	330201	空調温度の固定設定	2022	2	2022	
3	エネ起	330299	スクラバーの1本化(2台→1台へ削減)	2022	5	2022	
4	エネ起	360705	コンプレッサー保全管理者の設置	2022	2	2022	
5	エネ起	330299	工場内エアコンの更新	2022	5	2022	
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	1,455.42	1	1,466.93				
合計	1	1,455.42	1	1,466.93				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	1	1	0	0
自動車総数	4	4		
次世代車導入割合	25	25		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	遠方への出張において、1顧客訪問時は公共交通機関の利用を推進、自動車使用時は、複数顧客へのまとめ訪問を推進
自転車の利用促進	近距離通勤者への自転車・徒歩通勤の推奨
来客者の交通対策	
物流の合理化	同一顧客への納入品は、まとめ梱包し、配送数量を削減

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2008
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

当社では、当社ホームページの「環境方針」に記載してあります「DPGA製品の研究開発の推進」という、特許取得技術があります。この技術は、プリント基板の構造として高熱伝導構造となっていることで、LEDなどの部品の熱を効率よく伝達・放熱することで、熱によるLEDなどの部品の能力低下を改善するプリント基板であります。この部品の能力低下を改善することで、省エネに貢献することを目指しております。